

時代の変化に即した 「地方自治」の追究

地方のあり方こそ、日本の本質。
地方公共団体、そしてその先の住民の
暮らしに想いを馳せる。

1,700を超える自治体から構成されているこの国、日本。

風土や歴史、産業や文化など、どれ一つとっても同じ地方はなく、そこでは多様な暮らしが営まれています。

人口減少や高齢化、社会全体のデジタル化や頻発する災害、地球規模での環境危機など、様々な課題が山積するなか、持続可能な形で住民サービスを提供し続けられる地方公共団体のあり方とは。安心・安全で充実した住民の生活を守り、その主体的な行動を促し、後押しする方策とは。

住民の暮らしを支える基盤たる地方公共団体とともに、総務省は日本全体、そして将来を見据えて、地方のあり方を考え続けます。